

私 の 工 夫

主体的に学ぶ児童の育成を
めざして
総合的な学習の時間の実践を通して

倉敷市立第二福田小学校

教諭 森峰 美幸



1 はじめに

本校では昨年度、「探究・協働の学習を通して、自分の考えを深めることができる児童の育成」を研究主題として設定し、「生活科」

「総合的な学習の時間」において、探究的な学習を通して「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善に取り組んできた。5年生では、特に「児童の意識に沿った単元構想の工夫」「協働的な学習活動の工夫（話し合い活動の充実）」に重点を置いて研究を進めた。

今回は、昨年度の5年生の地球温暖化防止の実践について紹介したい。

2 実践の内容

〔単元名〕 地球を救え エコのか
け橋（全45時間）

○課題設定

総合的な学習の時間は、児童が自分たちで課題を決め、他者と協働して課題を解決しようとする学習活動である。児童がこれから設定する課題を「自分事」としてとらえることができるように、まずは課題設定までの過程を大切にしたい。

地球温暖化の問題は、子どもたちにとって自分たちの生活とのつながりが実感できにくいものである。対策を講じてみてもすぐに効果が

表れるものではないため、身近な問題になりにくい。そこで、まずは児童の身近な事例を取り上げることから、温暖化による環境の変化によって私たちの生活にどのような影響があるのかを知ることができるようにした。また、情報を



学級会形式の話し合い

補うため、様々な資料を提示することで、児童がそれぞれの問題が地球温暖化につながっているというところに気付くことができるようにした。そして児童との話し合いの



中間報告会

中で、「地球温暖化について学んでいこう」という学習テーマを設定した。

その後、児童一人一人が調べていく課題を設定する時間には、児童との対話を大切にしたい。児童が課題設定シートに課題（調べたいこと）・課題設定の理由（なぜ調べたいと思ったのか）をまとめる際には教師が個別に助言し、時間をかけて自分の考えを整理することができるようにした。

○エコ実践

課題設定後は、地球温暖化の影響・原因・対策などについて個人で調べていった。そして、調べた情報から分かったことなどを思考ツールを活用してまとめ、他の児童と交流する中間報告会を行った。報告会では、同じテーマで調べた

児童が集まって情報共有を行った。その後、違うテーマで調べた児童でグループに分かれ、自分たちの情報を伝え合った。分かれたグループで得た情報を同じテーマのグループを持ち帰り、伝え合うことで、考えを広げたり理解を深めたりすることができた。どの児童も「このままではいけない」「すぐにも何か対策をしなければ」という思いを語っていた。そこで専門家をゲストティーチャーとして招き、現状や被害、今後の予測など様々な視点から地球温暖化問題を学ぶ機会を設けた。児童はまずまず危機感をもち、「できることをやっていかなければ」という思

いを強くした。そこで、各自が家庭でできるエコ活動について調べ、夏休みを利用して実践していくことにした。エコポイント表(下図)をもとに独自のエコポイント制度を取り入れて、意欲的、継続的にエコ活動に取り組みるように工夫した。

○広める活動へ

2学期になり、夏休み中に取り組んだエコ活動について振り返った。成果と課題を整理し、自分たちの活動を分析すると、児童は「自分たちだけが活動していたのではだめだ」「継続できる取組とできない取組がある」ということに気付いた。そこで、「活動をもっとたくさんの人に広め、実践してもらいたい」という思いを強くした。そして、一度にたくさんの人に広めるために、エコフェスティバルを開催することとなった。エコ活動を広める際には、学級会形式での話し合い活動に力を入れて



エコフェスティバルの様子

エコポイントをためよう!

| すること | 二酸化炭素排出量のめやす | ポイント |
|----------------------------------|--------------|------|
| 1kmのきよりを自動車やバイクを使わず、徒歩・自転車を利用する。 | 165g | 17P |
| レジ袋をもらわず、マイバッグを使う。(1枚もらわなかったら) | 24g | 2P |
| クーラーを28度設定にする。(1時間減らした場合) | 90g | 9P |
| 見ないときにテレビを消す。(1時間がまん) | 40g | 4P |
| 使わないときに、コンセントからプラグをぬく。 | 59g | 6P |

エコポイント表(一部)

取り組んだ。学級全体で何をどのように広めるのかを繰り返し話し合うことで、多様な意見が出され、初めよりさらにより広め方になっていったと、児童が実感することができた。

3 おわりに

今回の実践では、学習テーマや課題を設定するところから、児童の意識に沿った単元計画となるように学習を進めてきた。時間をかけ、児童と丁寧に対話しながら課題を決定したことで、課題が一人一人のものとなったと感じている。また、そうして設定した課題だからこそ、その後児童が解決に向かって主体的に学習を進めていくことができたのではないかと思う。今後も児童一人一人が主体的に学ぶことができる授業づくりを工夫していきたい。